

# 令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調書番号 121	
事務事業名称		市有建築物整備・保全事業(施設管理課)									
担当部署(R7年度機構)		部:	都市整備部	課:	施設管理課	区分	持続的事业				
基本項目	総合計画	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち				細区分	維持管理区分			
		施策目標	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち				性質	交通・都市基盤			
	市長公約との関係性	所信表明 (R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度			
	事業期間	事業開始： 不明 ~ 事業終了予定： 未定(継続実施含む)									
	根拠法令等	枚方市事務決裁規程									
	関係附属機関等	該当なし									
	関係補助金等	該当なし									
	関係補助金等	補助金性質： —									
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態	市有建築物(学校以外)の施設利用者が安全かつ快適に利用できている。									
	対象者(受益者)	庁舎等の市有建築物(学校以外)の利用者。									
	現状・課題	各施設所管部署が管理する市有建築物(学校以外)について、その施設の利用目的や状態の変化などに応じた適切な整備・改修が必要である。									
	事業の概要	各施設所管部署からの依頼に基づき、市有建築物(学校以外)の土木施設に係る改修等を実施する。									
年間の主な事務	市有建築物(学校以外)の土木施設に係る改修等の設計、工事発注及び工事監理。										

2. 事務事業への投入コスト(インプット)								
人員体制			(人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	
	人員体制	正職員			1.55人	—	—	—
		再任用			0.00人	—	—	—
		任期付職員			0.00人	—	—	—
		会計年度任用職員			0.00人	—	—	—
		特別職非常勤			0.00人	—	—	—
		附属機関委員			0.00人	—	—	—

		(千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	11,916	—	—	—	—	—
		会計年度任用職員	0	—	—	—	—	—
		特別職非常勤	0	—	—	—	—	—
		附属機関委員	0	—	—	—	—	—
	人件費計		11,916	—	—	—	—	—
	物件費計		0	—	—	—	0	0.0%
歳出計		11,916	—	—	—	—	—	
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	<small>(留意事項)</small> <small>※正職員・再任用・任期付の 人件費は、人員配置を もとに平均人件費を乗算 しています。</small> <small>※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。</small>
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当のみ)		0	—	—	—	0		

### 3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 市有建築物(学校以外)の土木施設の工事発注件数	件	5 件	1 件	1 件	1 件

### 4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)						直接アウトカム(結果による変化・便益)							
ロジックモデル	アウトプット①	説明	市有建築物(学校以外)の土木施設の工事監理を適切に行う。				アウトカム①	説明	—				
		指標	期日までに工事を完了できた件数					指標	—				
			R6	R7	R8	R9		単位	R6	R7	R8	R9	単位
		目標	3	1	2	2		件	—	—	—	—	—
		実績	5	—	—	—		件	—	—	—	—	—
算出方法	期日までに工事を完了できた件数				算出方法	—							

### 5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

土木施設の安全性や機能が向上する。

### 6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	各施設所管部署からの依頼に基づき、市有建築物(学校以外)の土木施設に係る改修等の工事監理を実施した。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

### 7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	各施設所管部署と連携を図りながら、市有建築物(学校以外)の土木施設に係る改修等に取り組む。	R7年度方向性	現状維持
----------	---	---------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	—	—	—

# 令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 422	
事務事業名称		学校整備・保全事業(施設管理課)									
担当部署(R7年度機構)		部:	都市整備部	課:	施設管理課	区分	持続的事业				
基本項目	総合計画	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	維持管理区分			
		施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち				性質	子育て・教育			
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度			
	事業期間	事業開始： 不明 ~ 事業終了予定： 未定(継続実施含む)									
	根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律									
	関係附属機関等	該当なし									
	関係補助金等	該当なし 補助金性質： —									
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	児童・生徒を主とした学校施設利用者が安全かつ快適に利用できている。									
	対象者(受益者)	小・中学校の児童・生徒を主とした学校施設利用者。									
	現状・課題	児童・生徒を主とした学校施設利用者が、安全で快適に利用できるよう、施設の状態の変化など応じた適切な整備・改修が必要である。 小・中学校のグラウンドにおいて、ぬかるみや水はけ不良等が生じているため、機能改善が必要である。									
	事業の概要	学校施設(土木施設及びグラウンド)の整備や改修を行う。									
	年間の主な事務	学校施設(土木施設)の改修等の設計、工事発注及び工事監理。 小・中学校のグラウンド改修。									

2. 事務事業への投入コスト(インプット)										
人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績				
	正職員		1.55人	—	—	—				
	再任用		0.00人	—	—	—				
	任期付職員		0.00人	—	—	—				
	会計年度任用職員		0.00人	—	—	—				
	特別職非常勤		0.00人	—	—	—				
	附属機関委員		0.00人	—	—	—				
決算額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)		
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	11,916	—	—	—	—		
			会計年度任用職員	0	—	—	—	—		
			特別職非常勤	0	—	—	—	—		
			附属機関委員	0	—	—	—	—		
		人件費計		11,916	—	—	—	—		
	物件費計		73,895	—	—	—	89,939	82.2%		
	歳出計		85,811	—	—	—	—			
	歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0		
		府支出金		0	—	—	—	0		
		受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0		
市債		23,400	—	—	—	154,374	—			
その他		0	—	—	—	0				
歳入計(物件費に充当される特定財源)		23,400	—	—	—	154,374	—			
一般財源(物件費充当分のみ)		50,495	—	—	—	0				

(留意事項)  
※正職員・再任用・任期付の  
人件費は、人員配置を  
もとに平均人件費を乗算  
しています。  
※「歳入」欄には物件費に  
充当されるもののみ記載  
されています。

### 3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 学校施設(土木施設)の工事発注件数	件	5 件	— 件	— 件	— 件
② 学校施設(グラウンド)の改修実施予定校数	校	5 校	— 校	— 校	— 校

### 4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)		直接アウトカム(結果による変化・便益)																																				
ロジックモデル	<b>アウトプット①</b> 説明: 学校施設(土木施設)の工事監理を適切に行う。 指標: 期日までに工事を完了した件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table> 算出方法: 期日までに工事を完了した件数		R6	R7	R8	R9	単位	目標	3	3	3	3	件	実績	5	—	—	—	件	<b>アウトカム①</b> 説明: — 指標: — <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> 算出方法: —		R6	R7	R8	R9	単位	目標	—	—	—	—	—	実績	—	—	—	—	—
		R6	R7	R8	R9	単位																																
	目標	3	3	3	3	件																																
実績	5	—	—	—	件																																	
	R6	R7	R8	R9	単位																																	
目標	—	—	—	—	—																																	
実績	—	—	—	—	—																																	
<b>アウトプット②</b> 説明: 学校施設(グラウンド)の改修を行う。 指標: 改修実施校数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>校</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>校</td> </tr> </tbody> </table> 算出方法: 改修実施校数		R6	R7	R8	R9	単位	目標	5	5	5	5	校	実績	5	—	—	—	校	<b>アウトカム②</b> 説明: — 指標: — <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> 算出方法: —		R6	R7	R8	R9	単位	目標	—	—	—	—	—	実績	—	—	—	—	—	
	R6	R7	R8	R9	単位																																	
目標	5	5	5	5	校																																	
実績	5	—	—	—	校																																	
	R6	R7	R8	R9	単位																																	
目標	—	—	—	—	—																																	
実績	—	—	—	—	—																																	

### 5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

学校施設(土木施設)の安全性や機能が向上する。  
 学校グラウンドの安全性や機能が向上する。

### 6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	学校施設の状態に応じた土木施設の改修工事及び直営作業によるグラウンド改修を実施した。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

### 7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	学校と連携を図りながら、学校施設(土木施設及びグラウンド)の改修等に取り組む。	R7年度方向性	現状維持
----------	---	---------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	—	—	—

# 令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調書番号 441	
事務事業名称		学校園用地等管理事業									
担当部署 (R7年度機構)		部:	都市整備部		課:	施設管理課		区分	行政運営事業		
基本項目	総合計画	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち					細区分	行政運営区分		
		施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち					性質	財務・公財管理		
	市長公約との関係性	所信表明 (R5年9月)	—		市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
	事業期間	事業開始: 不明 ~ 事業終了予定: 未定(継続実施含む)									
	根拠法令等	地方自治法									
	関係附属機関等	該当なし									
	関係補助金等	該当なし 補助金性質: —									
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		学校園用地及び学校園関連用地が適正に管理できている。								
	対象者(受益者)		学校園用地等の行政財産の目的外使用者。								
	現状・課題		行政財産の目的外使用を申請する者に対し、適切に許可手続きを行う必要がある。								
	事業の概要		行政財産使用許可申請に基づき、許可手続き及び使用料の徴収を行う。								
年間の主な事務		行政財産使用許可申請に基づく許可手続き及び使用料の徴収。									

2. 事務事業への投入コスト(インプット)											
人員体制			(人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績				
	正職員			1.40人	—	—	—				
	再任用			0.00人	—	—	—				
	任期付職員			0.00人	—	—	—				
	会計年度任用職員			0.00人	—	—	—				
	特別職非常勤			0.00人	—	—	—				
	附属機関委員			0.00人	—	—	—				
決算額			(千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)		
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	10,763	—	—	—	—	—		
			会計年度任用職員	0	—	—	—	—	—		
			特別職非常勤	0	—	—	—	—	—		
			附属機関委員	0	—	—	—	—	—		
			人件費計	10,763	—	—	—	—			
			物件費計	2,838	—	—	—	2,877	98.6%		
			歳出計	13,601	—	—	—	—			
	歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0			
		府支出金		0	—	—	—	0			
受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0					
市債		0	—	—	—	0					
その他		0	—	—	—	0					
		歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	—	—	—	0				
		一般財源(物件費充当分のみ)	2,838	—	—	—	2,877				

(留意事項)  
 ※正職員・再任用・任期付の  
 人件費は、人員配置を  
 もとに平均人件費を乗算  
 しています。  
 ※「歳入」欄には物件費に  
 充当されるもののみ記載  
 されています。

### 3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 行政財産使用許可申請の受付件数	件	17 件	一件	一件	一件

### 4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)							直接アウトカム(結果による変化・便益)						
ロジックモデル	説明						説明						
		指標	R6	R7	R8	R9		単位	指標	R6	R7	R8	R9
	目標						目標						
	実績						実績						
	算出方法						算出方法						

### 5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

--

### 6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	行政財産使用許可申請に基づき、適切に許可手続き及び使用料の徴収を行った。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

### 7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	行政財産使用許可申請に基づき、適切に許可手続き及び使用料の徴収を行い、適正な用地管理に取り組む。	R7年度方向性	現状維持
----------	--	---------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	—	—	—

# 令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 443		
事務事業名称		市有施設環境整備業務										
担当部署(R7年度機構)		部: 都市整備部		課: 施設管理課		区分		持続的事业				
基本項目	総合計画	基本目標				3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち		細区分		維持管理区分		
		施策目標				16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		性質		交通・都市基盤		
	市長公約との関係性		所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
	事業期間		事業開始: 不明				～		事業終了予定: 未定(継続実施含む)			
	根拠法令等		地方教育行政の組織及び運営に関する法律									
	関係附属機関等		該当なし									
	関係補助金等		該当なし									
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		学校及び市有施設の利用者が安全で快適に利用できている。									
	対象者(受益者)		学校及び市有施設利用者。									
	現状・課題		学校及び市有施設の利用者が、安全で快適に利用できるよう、施設の状態の変化に応じた適切な環境整備が必要である。									
	事業の概要		学校及び市有施設所管部署からの依頼に基づき、職員の直営作業等による施設の補修、工作物の製作、樹木の剪定・伐採、除草などの環境整備を実施する。									
	年間の主な事務		職員の直営作業等による学校及び市有施設の環境整備。									

2. 事務事業への投入コスト(インプット)										
人員体制			(人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績			
	正職員			17.07人	—	—	—			
	再任用			0.96人	—	—	—			
	任期付職員			0.00人	—	—	—			
	会計年度任用職員			0.00人	—	—	—			
	特別職非常勤			0.00人	—	—	—			
	附属機関委員			0.00人	—	—	—			
決算額			(千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)	
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	136,348	—	—	—	—		
			会計年度任用職員	0	—	—	—			
			特別職非常勤	0	—	—	—			
			附属機関委員	0	—	—	—			
	人件費計			136,348	—	—	—			
	物件費計			46,647	—	—	—	52,424	89.0%	
	歳出計			182,995	—	—	—			
	歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0		
		府支出金		0	—	—	—	0	(留意事項)	
受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	※正職員・再任用・任期付の 人件費は、人員配置をもとに 平均人件費を乗算しています。			
市債		0	—	—	—	0	※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。			
その他		0	—	—	—	0				
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0			
一般財源(物件費充当のみ)			46,647	—	—	—	52,424			

### 3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 学校及び市有施設所管部署からの環境整備に係る依頼の受付件数	件	899 件	一件	一件	一件

### 4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)						直接アウトカム(結果による変化・便益)							
ロジックモデル	アウトプット①	説明	学校及び市有施設所管部署からの依頼に基づき、適切に環境整備を実施する。				アウトカム①	説明	—				
		指標	環境整備実施件数					指標	—				
			R6	R7	R8	R9		単位	R6	R7	R8	R9	単位
		目標	900	900	900	900		件	目標	—	—	—	—
		実績	899	—	—	—		件	実績	—	—	—	—
算出方法	環境整備実施件数					算出方法	—						

### 5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

学校及び市有施設の安全性や機能が向上する。

### 6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	学校及び市有施設所管部署からの依頼に基づき、学校及び市有施設の環境整備を実施した。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

### 7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	学校及び市有施設所管部署と連携を図りながら、学校及び市有施設の環境整備に取り組む。	R7年度方向性	現状維持
----------	---	---------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	—	—	—

# 令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 957		
事務事業名称		施設管理課運営事務										
担当部署 (R7年度機構)		部: 都市整備部		課: 施設管理課		区分		行政運営事業				
基本項目	総合計画	基本目標				9. 施策体系外		細区分		行政運営区分		
		施策目標				99. 施策体系外		性質		内部事務・行政運営		
	市長公約との関係性		所信表明 (R5年9月)	—	市政運営方針		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
	事業期間		事業開始: 不明				～		事業終了予定: 未定(継続実施含む)			
	根拠法令等		枚方市事務決裁規程									
	関係附属機関等		該当なし									
	関係補助金等		該当なし									
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		課の運営業務が円滑に実施できている。									
	対象者(受益者)		課の所管事務を行う職員。 課の所管事務に関わる他部局の職員。									
	現状・課題		課の運営業務を円滑に実施する必要がある。									
	事業の概要		課の運営業務									
	年間の主な事務		課の運営及び予算等の事務									

2. 事務事業への投入コスト(インプット)							
人員体制			(人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員			1.63人	—	—	—
	再任用			0.00人	—	—	—
	任期付職員			0.00人	—	—	—
	会計年度任用職員			0.00人	—	—	—
	特別職非常勤			0.00人	—	—	—
	附属機関委員			0.00人	—	—	—

		(千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	12,531	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		12,531	—	—	—		
物件費計		10,576	—	—	—	11,679	90.6%	
歳出計		23,107	—	—	—			
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	—	—	—	0		
一般財源(物件費充当のみ)		10,576	—	—	—	11,679		



(留意事項)  
※正職員・再任用・任期付の人員費は、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

### 3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①			—	—	—

### 4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)						直接アウトカム(結果による変化・便益)						
ロジックモデル	説明						説明					
		指標	R6	R7	R8	R9		単位	指標	R6	R7	R8
	目標						目標					
	実績						実績					
	算出方法						算出方法					

### 5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

--

### 6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	庁内外への照会・依頼・回答処理事務及び予算管理事務等、課の運営事務を行った。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

### 7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	他部局と連絡、調整を図りながら、正確かつ迅速な事務処理に取り組む。	R7年度方向性	現状維持
----------	-----------------------------------	---------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	—	—	—